
アマゾンが多治見市FCで恒例のヤギ除草、最大40頭

Edited By LogisticsToday On 2016/05/31

アマゾンは5月31日、岐阜県多治見市の物流拠点「アマゾン多治見フルフィルメントセンター」で、恒例となったヤギによる除草を開始した。

この取り組みは環境配慮活動の一環として、農業生産法人FRUSIC(フルーシックス、岐阜県高山市)の協力で、同社が飼育するヤギ30-40頭が敷地内の草を食へる「エコ除草」として、2013年から行っている。

今回は昨年生まれたばかりの3頭の”新人”子ヤギ「カクト君」「タニコ君」「ニコちゃん」がエコ除草隊に仲間入り。最大40頭のヤギがアマゾンの社員証を首からぶら下げ、敷地内の3750平方メートルに茂る雑草を食べる。エコ除草は5月末から11月まで、毎週火曜日の9-15時に行う。

同社はこの取り組みを「社員が働きやすい環境づくり」の一環に位置付け、自然環境に配慮した施設整備と併せて社員に対する「癒し」を提供している。

Article printed from Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト : <http://www.logi-today.com>

URL to article : <http://www.logi-today.com/236824>

Copyright © 2020 Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト. All rights reserved.